

—若手の中でも、どうしてこの4人になったの？

富：「作品を見て…気になったからです。好きだー！」「たじろみりせ、何かひっかかるものがある？」「…何日たって、心の中に残っている作品などがあって。そして、どこかでみたことあるものではなく、その人の個性というか、今まで見たことのない何かが少ないと感じられる、という点もポイントでした。」

富：「そうですね、多分、私自身が選んだということ、私自身の心に引っかかっているテーマが現れてきたのかもしれない。」

—4人の作家さんに決まって、色々とやりとりをする中で、印象的だったことはありますか？

富：「タムラサトルさんですが、去年夏に埼玉での個展にお伺いしたとき、大きなクマの作品がありました。そこにもう一人クマみたいな人がいて、「この人もクマっぽいなあ」と思っていたらそれがタムラさんでした(笑)青山ひろゆきさんは福島県出身で、地元海辺のカフェで色々とお話を聞きました。作品に対する思いがすごく伝わってきて…懐かしいですね。」

—同世代の方々だからこそお聞きできる話かもしれませんね。具体的に出品する作品内容など、どのように決めていったのですか？

富：「作家さんの希望と、私の希望をすり合わせて、お互い理解し合えるものを探っていました。」

—この展覧会にあわせて制作されたものもあるのですか？

富：「はい。今までに…夜も寝ないで…制作してくれているかも…(笑)」

—企画立ち上げから今まで、どのくらい期間がかりましたか？

富：「二年くらい前からやりたいと考え始めて、実際に出したのは、一年半くらい前になります。」



### 【展覧会について】

—そのような準備を経て始まる展覧会ですが、見どころを教えてください。

富：「作家さんにはみな若くて、熱意に溢れた人たちです。あまり美術に親しみがなかった、という方でも、今まで見たことのないような作品と出会える機会になると思います。」

—現代アートという事で、敬遠する人もいるのでは？

富：「たしかに、現代アートは難しいと感じている人も多いと思います。そう思わないためにも、いろいろなジャンルで、子供から大人まで楽しめるような作品を選んでいきます。」

—あまり構えずに来館していただきたいですね。

富：「そうですね。現代アートという先入観を持たずに見に来ていただければ、楽しめると思います。」

—展示の工夫などはありますか？

富：「巨大な作品もあるので、展示室前のロビーや階段ホールなども展示スペースになる予定です。外の庭では、氷を使った期間限定の展示もやります。美術館のあらゆる場所を使った展示にしたいと思います。」

—美術館全体がアートの空間になるのですかね…図録もあるのですか？

富：「作家さんごとの図録になっていて、4冊1セットです。現代アートは、作品によってそれを設置する会場と一体となって完成するものもあると思うので、図録中に当館での展示風景も収録します。…という事で、図録は展覧会会期中に完成する予定です。図録には作家さんの言葉も載せますので、作品鑑賞にも役立つと思います。そのほか、子どもさん向けのガイドも作る予定です。」

—完成が楽しみです。会期中に、関連のイベントなども行うのですか？

富：「夏休みにもあたるので、会期中の土日は何かしらのイベントを開催します。作家さんのアーティストトークや公開制作、ワークショップとか、学芸員による親子むけのキャラリートークなどを予定しています。」

—もりだくさんですね。作家さんにも会えるのですか。最後に、お客さんに向けて一言…

富：「気軽に、見に来て楽しんでください。」



## ゆらめく日常 アートの交差展 ～新進アーティストの視点～ 2009年7月18日(土)～8月30日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時  
(最終入館は午後4時半まで)  
会期中の毎週土曜日は午後8時まで開館  
(最終入館は午後7時半まで)  
休館日：毎週月曜日(7月20日は開館、翌日休館)  
観覧料：一般500(400)円、高・大生300(240)円  
( )内は20名以上の団体料金  
中学生以下、65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方は無料  
主催：郡山市立美術館

●会期中のイベントについては、8ページをご覧ください。